

～第12回～

Mie Film Festival 2014

三重映画フェスティバル

びらつと
三重上映キャラバン
2014



山中貞雄監督

丹下左膳餘話 百萬両の壺

開催日時 **平成27年2月18日(水)**

14:00 (開場 13:30)

入場無料

開催場所 **介護老人保健施設 みえの郷デイルーム**

三重県四日市市山田町 5538-1

上映スケジュール

13:30 **開場**

14:00 **解説 長谷川 哲也** (三重映画フェスティバル実行委員会委員)

14:10 **「丹下左膳餘話 百萬両の壺」**(1935年、92分) **上映**

出演：大河内傳次郎、喜代三、宗春太郎、沢村国太郎、花井蘭子

あらすじ：28歳の若さで戦死した天才映画監督・山中貞雄の現存する3本の映画の1本。

こけ猿の壺に秘められた百萬両の謎を巡り、隻眼隻手の浪人、

丹下左膳と藩主たちの回収騒動を描く人情時代劇。

津市一身田寺内町で撮影された。

15:50 **閉会**

※今回の上映はDVDです

解説者プロフィール

長谷川 哲也 (はせがわ てつや)

1960年、三重県津市一身田生まれ。

津市立小学校教員を経た後、現在、三重県教育委員会勤務。

1997年より一身田寺内町まつり実行委員。

主催：三重映画フェスティバル実行委員会

助成：岡三加藤文化振興財団

問い合わせ：介護老人保健施設 みえの郷 (担当：岡) 電話 059-328-2116

” 日本映画の名作を届ける “



「ぐるっと三重上映キャラバン2014」開催にあたって

三重映画フェスティバル実行委員会

2003年に三重にゆかりのある小津安二郎監督の生誕100年を記念して「三重映画フェスティバル2003」を開催以来、毎年、三重映画フェスティバルを開いてきました。2014年も昨年度に引き続き上映キャラバンを開催しています。映画館のない地域や病院・デイケアセンター・地区市民センターなどで【日本映画の名作をお届けする】をテーマに、岡三加藤文化振興財団からの助成をいただき、県内各地で出張上映を行っています。上映作品は三重県視聴覚ライブラリーが所蔵する映画(DVD)を借りています。本日は夭折の山中貞雄監督作品『丹下左膳餘話 百萬両の壺』をお楽しみ下さい。



映画監督・脚本家 山中 貞雄

明治42年(1909)11月8日京都市に生まれる。昭和2年(1927)マキノ御室撮影所へ入社。少年時から大の映画好きが叶って、映画の世界に入る。

昭和4年(1929)2月、19歳で脚本家デビュー、『鬼神の血煙』が公開される。その後、「鞍馬天狗」、「右門捕物帖」など多くの脚本で活躍した。

昭和7年(1932)、22歳で『磯の源太 抱寝の長脇差』の監督第1作が絶賛された。同年、日活京都撮影所へ引き抜き移籍。以降、若き天才監督の名前を欲しいままにした。

昭和9年(1934)からは、山中を中心に稲垣浩、滝沢英輔ら8名の俊才とシナリオ集団「鳴滝組」を結成、「梶原金八」の共同ペンネームで22作を発表した。時代劇映画に大きな革新を生み、観衆から大きな支持を得ると共に、各地の映画人と広い交友関係を結んだ。

そして、昭和12年(1937)、東京に移り、P.C.L.映画製作所(後の東宝スタジオ)で発表した名作『人情紙風船』を演出、封切り当日に召集令状が届き、大陸へ出征。その後中国各地を転戦。

翌昭和13年(1938)9月17日、28歳で河南省開封市に戦病死した。

(出典：角-百科事典[9]体ペ[17])

フィルモグラフィー (監督作品を抜粋)

※ 残されているフィルム

封切日	題名	封切日	題名
昭和7年2月	磯の源太 抱寝の長脇差	昭和10年2月	国定忠治
4月	小判しぐれ	6月	丹下左膳餘話 百萬両の壺 ※
6月	小笠原壱岐守	7月	関の弥太ッペ
7月	口笛を吹く武士	11月	街の入墨者
9月	右門捕物帖 三十番手柄 帯解け仏法	11月	大菩薩峠 第一篇 甲源一刀流の巻 (応援監督)
11月	天狗廻状 前篇	12月	怪盗白頭巾 前篇
昭和8年4月	薩摩飛脚 後編(剣光愛欲編)	昭和11年1月	怪盗白頭巾 後篇
6月	盤嶽の一生	4月	河内山宗俊 ※
9月	鼠小僧次郎吉 前篇 江戸の巻	8月	海鳴り街道
11月	鼠小僧次郎吉 中編 道中の巻	昭和12年3月	森の石松
12月	鼠小僧次郎吉 後編 再び江戸の巻(仁義の巻)	8月	人情紙風船 ※
昭和9年3月	風流活人剣		
7月	足軽出世譚		
9月	勝鬨 (応援監督)		
11月	雁太郎街道		